

仙人通信 171 登り尾 (1056m)

登り尾は湯ヶ島温泉から国道 141 号の天城峠トンネルを出た左側に聳える 2 等三角点の山で、40 万年前の湯ヶ島層群の安山岩が浸食で孤立した山塊である。国道 141 号のトンネルを出た地点にある二階滝の駐車場に車を置き、二階滝・カンテン橋・寒天林道から新山峠を経て山頂へ登り、国道を戻るコースを計画とした。

駐車場の山面にある観光ガイド板の横の杉林の中に作られた階段からのスタートである。

5 分程登り旧道に出で、天城トンネル方向へ 10 分程進むと、左眼下に滝の水音が聞こえ覗き込むと見事な滝だ。更に数分進んだ先の橋の右手に通行止めのロープが張られた寒天林道への入口だ。この寒天林道は八丁池へと繋がる舗装された道路である。右下のせせらぎの音・飛び交う小鳥たちの囀りが続く長閑なコースだ。杉の木の根元には色付き始めたミツマタの花・そしてナニワズによく似た葉に、鶯色の小さな花を付けたチョウセンナニワズだろうか咲き始めている。20 分程で有名な三本杉を過ぎると、林道はジグザクを繰り返して高度を上げて行き、沢の先に登り尾の山頂も望める。15 分程で登り尾の山頂を示す道標だ。

丸太の橋を 2 つ渡り、杉林の中に作られた丸太の階段を登る。3 cm にも伸びた杉苔が綺麗だが先日の春一番の影響か、杉の葉や小枝が散乱し・雨で岩がゴロゴロ状態である。15 分程で、南面が開けた新山峠に着く。河津町方面の山脈が僅か望めた。ここからは、ほぼ尾根コースであるが南面は杉や檜林が、北面 150m 程広がった落葉樹林であるも、背の高いアセビやサカキ等も多く眺望が利かない。コナラ・ヒメシャラ・ブナ等の落葉で埋もれたコースは、先日の嵐で確認が難しい状態だ。木に付けられた赤や青のテープを頼りに、次の目印を常に確認しながら進む。小さなピークを 2 つ越へ、緩やかなコースを 40 分程で山頂だ。

幹が 1m もある大きなブナやヒメシャラ等に取り囲まれた山頂は広いも展望はゼロだ！

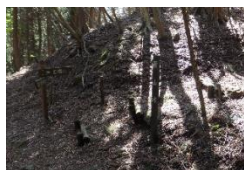
三角点の文字を指でなぞって二等三角点である確認をした。休憩後、尾根を西に向かい下がる。落ち葉で埋もれたコースを探すことと足元が不安定の中、1 歩ずつ確認しての下山だ。杉林の間から海が僅かであるが望めてほっと！だ。35 分程下がった地点で南面の杉林が切倒されたヤセ尾根となり、5 分程で境界の杭と 257 と番号が付けられた杭だ。ガイドにある左折点である。赤いテープに従い 30m 程下がった地点が林道の基点で、林道に沿ってテープのマークを確認しながら進むと、檜の幹に赤と白のペイントと 258 番の境界の杭だ。幹に次々と付けられたペイントのマークを頼りに再び尾根を下る。257 番から 30 分程で国道のバス停(登り尾)へ下山が出来た。国道の側道を鍋失トンネル・昭和記念の森を経て、40 分で車の待つ二階滝の駐車場に戻った、展望の利かない虚しさと冒険心に満ちた自然の山歩き約 4 時間(20400 歩)を体験する事が出来ました。

(h 30.3. 13)

登山口の橋



新山峠



ヒメシャラの林



山頂

